

## ケニアの生活習慣病予備軍の早期発見と改善を目指して

### —健診受診率向上プログラムの導入を検討—

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)において株式会社キャンサーズキャン(東京都品川区、福吉 潤代表取締役)が提案する「健康診断受診者拡大事業に係る案件化調査」(ケニア)を採択しました。

ケニアでは、近年、経済成長が著しい一方で、循環器系疾患や糖尿病といった生活習慣病の罹患が増加しています。その要因としては、食生活や運動習慣の変化に加え、肥満や高血圧症といった生活習慣病予備軍への早期発見や早期予防的介入を目的とした健康診断が受診されていないことがあげられます。

同社は、これまでに延べ 250 以上の日本国内自治体に対して健康診断の受診率向上プログラム等を提供してきました。同プログラムは、対象となる人々の健康にまつわる行動習慣を調査分析した上で、行動変容を促す効果的なアプローチを開発し、実施するものです。人によって受診しない理由は異なります。その人の現在の考えや行動に応じて、健康診断を受診するよう働きかけるメッセージと方法で呼びかけ、考えや行動・習慣に変革を起こします。

今回の案件化調査では、ケニアにおける健康診断の実態とニーズを調査し、現地に適合したプログラムの導入可能性を検討いたします。



ケニアでのヘルスチェックの様子

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 1 回分は今年 3 月に公示を行い、36 件が採択。(参考サイト：[https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620\\_01.html](https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620_01.html))

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 広報室報道課 宮田

TEL 03-5226-9780 e-mail : Miyata.Naoaki@jica.go.jp